

令和 3 年度 事業 報告

豊川市国際交流協会は、平成2年4月1日の設立以来、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、関係各国の相互理解と友好親善を図ってまいりました。

平成24年4月からは、公益財団法人として各種国際交流事業を展開し、令和2年には、財団設立30年を迎えることができました。

令和3年度は、年度当初は新型コロナウイルス感染拡大による、国の緊急事態宣言発出により、日本語教室、各語学講座及び「おいでん祭」などの事業は中止せざるを得ませんでした。しかしながら、10月以降感染状況が少し落ち着いて来ましたので、事業を、ウイルス感染防止に十分留意して実施しました。

コロナ禍において、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)が有効な情報伝達手段との認識のもと、SNSを活用してイベントのお知らせや実施状況の報告、コロナによる緊急事態宣言の発出による日本語教室の中止や延期のお知らせをしました。

また、ワールドフェスティバルでは、昨年度より動画配信数を増加させました。さらに、豊川市の姉妹都市キューパティーノ市への人的交流が閉ざされる中、豊川海軍工廠平和公園で行われた「折り鶴 ワールドピースの集い」を動画撮影し、キューパティーノ市の「ベルリンギング」への返答として送信しました。

今後も、ボランティアの方々や関係団体及び地元企業の方と連携を強め、公益性を活かしながら時代に即した事業を計画実施します。そして、外国人を含めた市民が安全な環境の中で安心して暮らせるような、より広い視点から国際交流活動を推進してまいります。

公益目的事業

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

コロナ禍で人的交流が困難な中、ホームページやフェイスブックを利用し、地域の人々と外国人との交流を意識し、相互理解と親善を深めるよう努めました。

① ワールドフェスティバル2021

12月の開催時が、緊急事態宣言の発出の時期ではなかったため、実施しました。イベントは、コロナ禍を意識して、世界のグルメ(持ち帰り)、東京オリパラ2020 トーチ・スイスレーティッシュ鉄道Nゲージ等の展示を、密を避け、感染対策をとり実施しました。

また、ホームページやフェイスブックで、アーティストのダニエル フォロー氏のオリジナル曲他2曲、協会の部会紹介リレー、世界の家庭料理を味わおう!動画で世界旅行を楽しもう、グローバル企業紹介、ラテンアメリカ部会のパチャママの演奏やアトリエの踊りの動画を配信し、協会の活動の様子や

国際理解を深めました。

(2) ジュニアフレンドシップ事業

① キッズワールドサマースクール

日 時 令和3年7月31日(土) 午前9時10分～12時

場 所 豊川市総合体育館 サブアリーナ

対 象 市内在住小学校4年生～6年生

参加者 48名(子ども28名、外国人7名、スタッフ等13名)

内 容 子どもたちの国際化への関心を深めるため、6グループごとに分かれて、外国人との交流タイム、クイズ、ゲームを楽しみながら国際交流を図りました。

(3) 外国人支援事業

- ① 開発途上国へ中古衣料などを送る支援のために、支援物資の呼びかけをホームページや機関紙で行い、ズボン、シャツ、セーターなど段ボール2箱分の衣料品が集まりました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・活動の紹介

地域の国際化や外国人支援に関心のある市民を対象に、ボランティアとして募集、登録、育成するとともに、協会で行っているボランティア活動の紹介を行いました。

また、地域の国際化を推進するための人材の育成や多文化共生における市民活動の活性化に向けて支援しました。

① 日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録

機関誌「We」やホームページ、SNS、チラシに掲載して募集、登録を促しました。

② 情報交換・意見交換会(運営委員会)の開催

協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について、話し合う意見交換会(運営委員会)を毎月1回、各部会の代表者で開催しました。

開催回数 7回 (中止5回はメール等で書面にて実施しました。)

③ 日本語ボランティア養成講座の開催

ア 「やさしい日本語を通して考える外国人市民とのコミュニケーション—外国人市民の「声」を聴くために—

日 時 令和3年10月3日(日) 午後1時30分～3時40分
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室
講 師 犬飼 康弘氏

公益財団法人ひろしま国際センター日本語常勤講師

受講者 28名

内 容 ボランティアで日本語を教えてみたい人のために、その活動が楽しくスタートでき、しかも当協会の日本語教室でボランティアとして従事していただけるように、また現在ボランティアで教えている人にも、今まで自分が教えてきたことへの振り返りになる内容でした。

イ 日本語教室見学会

日 時 令和3年10月9日(土) 午後7時～8時

場 所 市勤労福祉会館 日本語教室実施教室

参加者 6名

- ④ 日本語ボランティアスキルアップ研修会の開催
感染拡大防止の観点から次年度へ延期となりました。
- ⑤ 市民まつり「おいでん祭」への参加
感染拡大防止の観点から中止となりました。
- ⑥ 「防災ってお互いさま！～災害時通訳ボランティア及び防災ボランティアコーディネーター スキルアップ研修～」
感染拡大防止の観点から中止となりました。

(2) 国際理解講座の開催

人権、環境、平和、防災など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした、講座や講演会などを行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

- ① 多文化共生課外授業
感染拡大防止の観点から中止となりました。
- ② 「どんな国シリーズ」として、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

ア 「ソロモン諸島ってどんな国」

感染拡大防止の観点から中止となりましたが、世界の歩き方部会交流会

として実施しました。

イ 「カンボジアってどんな国」

感染拡大防止の観点から、次年度へ延期しました。

③ 国際理解講座

ア 「コーヒーから見える国々の状況とドリップコーヒーのワークショップ」

日 時 令和3年4月18日(日) 午後1時30分～3時30分

場 所 豊川市民プラザ

講 師 春日井 隆司氏(ドリップコーヒーアンバサダー)

(フレーバーコーヒーコーディネーター)

参加者 34名

内 容 コーヒーを味わいながら、コーヒー豆に関する海外事情を学び、その食文化をさらに身近なものとして受け止めてもらえるように啓発を図りました。

④ 国際理解講演

ア 「交流に役立つ中国語—台中松竹 RC 来訪歓迎会を想定して—」

日 時 令和4年3月8日(火) 午後0時30分～1時30分

場 所 豊川商工会議所

対 象 豊川宝飯ロータリークラブ会員 40名

講 師 林 明子氏

⑤ 出前講座

ア 国府小学校6年生、中部中学校2年生及び豊川高等学校(国際系クラス)へ当協会外国人会員及び職員を派遣し、国際理解を進めました。

(3) 姉妹都市等の交流

① キュパティエーノ市との交流

ア 「折り鶴 ワールドピースの集い」

日 時 令和3年8月6日(金) 午前10時～11時

場 所 豊川海軍工廠平和公園

内 容 協会キュパティエーノ部会や過去にキュパティエーノ市を訪問した方が、市民に向けて世界平和を願うメッセージを送りました。その様子を動画に撮りキュパティエーノ市へ送信し、「ベルリンギング」への答礼としました。

(4) 外国語講座

語学学習や外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。

英会話4講座、中国語1講座及びスペイン語1講座を実施しました。

① 英会話講座

- ア メアリー先生とノリノリ英会話1 (初級)
令和3年6月22日～令和3年8月24日 (受講者8名)
- イ みんなのための英会話1 (初級)
令和3年6月22日～令和3年8月24日 (受講者18名)
- ウ メアリー先生とノリノリ英会話2 (初級)
令和3年12月14日～令和4年3月22日 (受講者6名)
- エ 英語で自分の意見を言ってみよう! (初中級)
令和3年12月14日～令和4年3月15日 (受講者13名)
- オ 世界のトピックを英語で話してみよう! (中級)
令和3年12月14日～令和4年3月15日 (受講者6名)

② 中国語講座

- ア マンガで学ぶ日常中国語1 (初中級)
令和3年12月16日～令和4年3月10日 (受講者7名)

③ スペイン語講座

- ア 楽しいスペイン語! (初中級)
令和3年12月8日～令和4年3月16日 (受講者11名)

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、安心して日常生活を送ることができるよう支援するために、日本語教室を開催しました。日本語習得の機会を提供することで、多文化共生社会づくりを推進しました。

① 日本語教室の開催

・夜クラス

時 期 4月～10月(49期)、10月～3月(50期)の毎週土曜日
午後7時45分～午後9時
(緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置期間中は休講)

場 所 市勤労福祉会館

講 師 協会の日本語教室部会員 延べ67名

受講者 67名(49期)、50名(50期)
内容 入門から上級まで、15クラスに編成して開講しました。

・ひるまクラス

時期 4月～10月(17期)、10月～3月(18期)の火・水・木曜日
午前10時30分～正午
場所 市勤労福祉会館
講師 協会の日本語教室部会員 延べ13名
受講者 10名(17期)、10名(18期)
内容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで開講しました。

② 豊川市日本語スピーチコンテスト(第12回)
感染拡大防止の観点から中止となりました。

③ 東三河日本語スピーチコンテスト(第12回)
感染拡大防止の観点から中止となりました。

④ ひらがな新聞発行事業
「We やさしいにほんごばん」を発行しました。

(2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるよう、母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを通して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

① 小中学生学習支援クラス

日時 4月～3月の第1、2、3土曜日 午後1時～5時
※ 内5か月間は、感染拡大防止の観点から、活動を中止しました。
年間20回開講

場所 主に市社会福祉会館(ウイズ豊川)
講師 協会ボランティア10名
学習者 18名
内容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

② アトリエ

日時 4月～3月の第1、2、3土曜日 午後6時～8時
※ 内5か月間は、感染拡大防止の観点から、活動を中止しました。
「えがおフェス2021」(11月7日(日))ダンス出演(ビデオ)しました。

場所 主に市社会福祉会館(ウイズ豊川)

講師 専門講師(1名)
参加者 2名(中学生)
内容 ラテンアメリカの子どもたちに母国の文化の伝承や母国についてより深く知ってもらうため、主に民族舞踊を教えています。

(3) 外国人支援講座

日本で生活するための社会制度などを理解するための講座や相談会を行いました。

① 外国人のための税務相談会

日時 2月20日(日) 午前10時～午後4時

場所 市勤労福祉会館視聴覚室

協力 市民税課、東海税理士会豊橋支部

参加者 18名(ブラジル15名、ペルー2名、パラグアイ1名)

内容 市内在住の外国人の方への確定申告の支援をし、地域の人と共に暮らす多文化共生社会の一助としました。

(4) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

① ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語による生活相談及び情報提供

・相談件数 100件

(5) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに寄与しました。

① 個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

通年にわたり、ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

① 機関誌「We」の発行

発行回数・部数 年2回(6月・1月)2回で2,000部

(2) 広報とよかわ「インフォルマ」スペイン語版翻訳事業

日本語がわからないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供するための翻訳の協力をしました。

① 「インフォルマ」

発行回数・部数 年12回 1,800部 /回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

① ホームページでの情報提供

本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座等について、より多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

(4) ざっくばらんに話そう

① 高校生、大学生、留学生、市内グローバル企業の社員、警察官、国際経験豊富な方々と大勢の参加があり、ワールドカフェ方式にて、海外や外国人に関わる経験や話題を本音でディスカッションをしました。

日時 12月12日(日) 午後1時30分～午後4時

場所 市勤労福祉会館

参加者 62名

内容 参加者の9割以上から「参加して良かった。」との感想をいただき、特に高校生を始め若い方からの反応がよく、「色々な人と色々な話ができ、学べ、楽しく良い機会で、今後につながる。」といったアンケート回答が多くありました。これらを通して国際感覚を養い、若者の国際人育成の一助になりました。

附属明細書

令和3年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

令和 3 年度

決算報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

公益財団法人 豊川市国際交流協会

貸借対照表

令和4年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,159,085	1,635,456	△ 476,371
流動資産合計	1,159,085	1,635,456	△ 476,371
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	214,000,000	214,000,000	0
定期預金	1,750,000	1,750,000	0
基本財産合計	215,750,000	215,750,000	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	2	2	0
ソフトウェア	206,800	259,600	△ 52,800
その他固定資産合計	206,802	259,602	△ 52,800
固定資産合計	215,956,802	216,009,602	△ 52,800
資産合計	217,115,887	217,645,058	△ 529,171
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	204,563	245,597	△ 41,034
前受金	2,000	126,450	△ 124,450
預り金	121,376	85,929	35,447
流動負債合計	327,939	457,976	△ 130,037
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	327,939	457,976	△ 130,037
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	215,750,000	215,750,000	0
指定正味財産合計	215,750,000	215,750,000	0
(うち基本財産への充当額)	(215,750,000)	(215,750,000)	(0)
2. 一般正味財産	1,037,948	1,437,082	△ 399,134
正味財産合計	216,787,948	217,187,082	△ 399,134
負債及び正味財産合計	217,115,887	217,645,058	△ 529,171

正味財産増減計算書

令和3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,961,435	1,961,575	△ 140
受取会費			
賛助会員受取会費	2,218,000	2,166,000	52,000
事業収益			
参加費等収益	780,200	846,040	△ 65,840
雑収益	71,720	269,000	△ 197,280
事業収益計	851,920	1,115,040	△ 263,120
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	21,452,994	20,951,762	501,232
受取民間補助金	100,000	0	100,000
受取国庫補助金	0	2,000,000	△ 2,000,000
受取補助金等計	21,552,994	22,951,762	△ 1,398,768
受取寄附金			
受取寄附金	0	500,490	△ 500,490
受取寄附金計	0	500,490	△ 500,490
雑収益			
受取利息	471	508	△ 37
雑収益	48,396	50,364	△ 1,968
雑収益計	48,867	50,872	△ 2,005
経常収益計	26,633,216	28,745,739	△ 2,112,523
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	1,260,000	1,260,000	0
給料手当	10,930,622	11,075,581	△ 144,959
臨時雇賃金	1,882,839	1,747,536	135,303
退職給付費用	115,200	100,800	14,400
福利厚生費	1,788,602	1,785,471	3,131
旅費交通費	2,680	30,300	△ 27,620
通信運搬費	385,517	339,062	46,455
減価償却費	42,240	3,520	38,720
消耗品費	424,169	987,067	△ 562,898
修繕費	16,368	0	16,368
印刷製本費	430,810	318,809	112,001
賃借料	1,921,492	1,887,149	34,343
保険料	57,890	0	57,890
諸謝金	756,430	568,818	187,612
租税公課	1,200	1,400	△ 200
支払負担金	3,000	49,000	△ 46,000
支払助成金	199,500	189,000	10,500
委託費	104,563	110,002	△ 5,439
事業費計	20,323,122	20,453,515	△ 130,393
管理費			
役員報酬	540,000	540,000	0
給料手当	3,792,556	3,613,695	178,861
臨時雇賃金	470,709	436,880	33,829
退職給付費用	28,800	25,200	3,600
福利厚生費	624,204	583,180	41,024
会議費	1,425	3,470	△ 2,045
旅費交通費	5,440	0	5,440
通信運搬費	108,565	209,404	△ 100,839
減価償却費	10,560	880	9,680
消耗品費	69,904	587,818	△ 517,914
修繕費	51,216	0	51,216
印刷製本費	40,269	934,594	△ 894,325
燃料費	31,436	30,085	1,351
賃借料	473,391	470,940	2,451
保険料	13,200	0	13,200
諸謝金	0	309,640	△ 309,640
租税公課	1,600	4,200	△ 2,600
支払手数料	338,953	351,053	△ 12,100
委託費	48,600	19,536	29,064
雑費	58,400	50,270	8,130
管理費計	6,709,228	8,170,845	△ 1,461,617
経常費用計	27,032,350	28,624,360	△ 1,592,010
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 399,134	121,379	△ 520,513
当期経常増減額	△ 399,134	121,379	△ 520,513
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 399,134	121,379	△ 520,513
当期一般正味財産増減額	△ 399,134	121,379	△ 520,513
一般正味財産期首残高	1,437,082	1,315,703	121,379
一般正味財産期末残高	1,037,948	1,437,082	△ 399,134
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	215,750,000	215,750,000	0
指定正味財産期末残高	215,750,000	215,750,000	0
III 正味財産期末残高	216,787,948	217,187,082	△ 399,134

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事業又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法によっている。

無形固定資産

定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	214,000,000	0	0	214,000,000
定期預金	1,750,000	0	0	1,750,000
合 計	215,750,000	0	0	215,750,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産				
投資有価証券	214,000,000	214,000,000	0	0
定期預金	1,750,000	1,750,000	0	0
合 計	215,750,000	215,750,000	0	0

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	44,064	44,062	2
ソフトウェア	264,000	57,209	206,800
合 計	308,064	101,262	206,802

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価格	時価	評価損益
28回神奈川県公債(20年)	100,000,000	107,210,000	7,210,000
政府保証第237回日本高速道路保有・債務返済機構債券(20年)	100,000,000	106,990,000	6,990,000
第392回大阪府公債(10年)	14,000,000	14,124,278	124,278
合 計	214,000,000	228,324,278	14,324,278

7. 金融商品の状況

1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

2. 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスクにさらされている。

3. 金融商品のリスクに係る管理体制

①財務規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の財務規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和3年度豊川市国際交流協会補助金	豊川市	0	21,452,994	21,452,994	0	-
令和3年度第2回国際交流推進事業費補助金	愛知県国際交流協会	0	100,000	100,000	0	-
合 計		0	21,552,994	21,552,994	0	-

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳はない。

附 属 明 細 書

1.基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「3.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載している。

2.引当金の明細

引当金は計上していないため省略する。

財産目録

令和4年3月31日現在

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現金			30,000
普通預金	豊川信用金庫/本店 2349078	運転資金として	625,709
普通預金	豊川信用金庫/本店 0481167	運転資金として	8,920
普通預金	豊川信用金庫/本店 3913951	運転資金として	114,456
定期預金	豊川信用金庫/本店	運転資金として	380,000
流動資産合計			1,159,085
2.固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	28回神奈川県公募公債(20年)	公益目的保有財産(50%)であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 管理運営用財産(50%)であり、協会の管理運営に使用している。	100,000,000
	政府保証第237回日本高速道路保有・債務返済機構債券(20年)		100,000,000
	第392回大阪府公募公債(10年)		14,000,000
定期預金	豊川信用金庫/本店		1,750,000
(2)その他固定資産			
什器備品	チェコ衣装	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用。	2
ソフトウェア	会員管理システム	公益目的保有財産(80%)であり、公益目的事業に使用している。 管理運営用財産(20%)であり、協会の管理運営に使用している。	206,800
固定資産合計			215,956,802
資産合計			217,115,887
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金		3月分職員時間外・臨時職員賃金	204,563
前受金		令和4年度日本語教室受講料	2,000
預り金		源泉所得税1~3月分、前局長社会保険料(雇用保険料含まず)、受講費未返金分	121,376
流動負債合計			327,939
負債合計			327,939
正味財産			216,787,948

(正味財産増減計算書説明資料)

経常費用合算分
令和3年4月1日から令和4年3月31日

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	分析内容
(事業費・管理費) 役員報酬	1,800,000	1,800,000	0	
給料手当	14,723,178	14,689,276	33,902	事務局長+860,400、 今泉+57,498、渡辺-776,400、 林-88,248の結果。
臨時雇賃金	2,353,548	2,184,416	169,132	パート職員土日祝日単価425 円増額、通勤手当100増額に よる。
退職給付費用	144,000	126,000	18,000	令和2年度3,000×3ヶ月+ 6,000×9ヶ月 令和3年度6,000×12ヶ月
福利厚生費	2,412,806	2,368,651	44,155	給与の増額に伴い増額
旅費交通費	8,120	30,300	△ 22,180	令和2年度「マカオって」 8,580、 日本語ボラスキルアップ講師 19,960
通信運搬費	494,082	548,466	△ 54,384	令和2年度 30周年記念テラ シ・記念誌・記念品送料約7万
減価償却費	52,800	4,400	48,400	令和2年度は1月分の減価償 却(令和3年3月購入の為)
消耗品費	494,073	1,574,885	△ 1,080,812	令和2年度は30周年記念式 典・周年事業があった為
修繕費	67,584	0	67,584	公用車修理
印刷製本費	471,079	1,253,403	△ 782,324	令和2年度30周年記念記念 誌作成費
賃借料	2,394,883	2,358,089	36,794	令和2年度印刷機12万、令和3年 度ヒミカZoom用パソコン4万、保守 料6万、光熱水費9,000、コーヒー講 座会場代43,120等増
保険料	71,090	0	71,090	ワールドフェスティバル損害賠 償保険料55,790、自転車保険 料13,200、キッズ2,100
諸謝金	756,430	878,458	△ 122,028	30周年記念式典講演料 275,000 令和3年度語学講座講師料 増額による差額
租税公課	2,800	5,600	△ 2,800	納税証明書・法人登記の証明 書手数料減額
委託費	153,163	129,538	23,625	HP、会員管理保守料の増額
支払手数料	338,953	351,053	△ 12,100	事業中止とネットバンキング利用 により振込手数料減額
雑費	58,400	50,270	8,130	社協会費+1万等
支払負担金	3,000	49,000	△ 46,000	東三河日本語スピーチコンテ スト中止の為
支払助成金	199,500	189,000	10,500	英語部会増員(20人)
(管理費) 会議費	1,425	3,470	△ 2,045	理事会、評議員会書面評決 により
燃料費	31,436	30,085	1,351	
合 計	27,032,350	28,624,360	△ 1,592,010	